



折尾地区総合整備事業

住みやすく、魅力的で、
にぎわいのあるまちづくり

折尾神楽



北九州市

折尾地区総合整備事業

折尾地区の概要

「折尾地区」は、古くから石炭輸送の要衝として栄え、鉄道により我が国の産業の近代化に大きく貢献してきました。近年では隣接する遠賀・中間地域を含めた行政の中心地として、また、周辺部の住宅開発の進展と併せ、北部九州有数の学園都市として発展してきました。

〔折尾駅〕

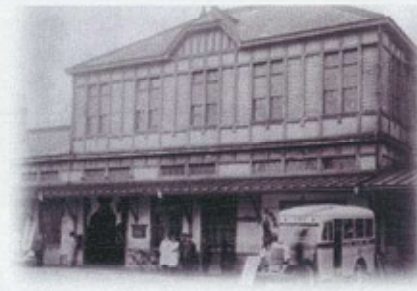
- 明治24年 九州鉄道、筑豊興業鉄道が、それぞれ折尾駅を開業
- 明治28年 2社共同の折尾駅が完成(日本最初の立体交差駅)
- 乗降客数 約3万2千人/日(H26年度JR九州管内第5位)

〔学園都市〕

- 大学・大学院7校、短期大学2校、高校5校、学生数 約1万2千人(北九州学術研究都市を含む)
- (大学・大学院、短期大学、高校の市内在学者数の4分の1が集まっている)



大正初期頃の堀川運河(石炭輸送の川ひらた)



昭和9年頃(大正5年当時の姿)の折尾駅舎



学園大通りの若者(現在)

しかし、折尾駅周辺は、次のような問題を抱えています。

- 鉄道による市街地の分断、踏切による交通渋滞
- 道路などの基盤整備の遅れ
- 学園都市の玄関口として商業・業務・文化施設などの不足
- 古くからの密集市街地の存在



2つの鉄道が立体交差

折尾地区総合整備事業の概要

まちづくりの目標 **住みやすく、魅力的で、にぎわいのあるまちづくり**

課題1 交通環境の改善

- ➡ 幹線道路の整備
- ➡ 踏切の除去(鉄道高架化)

課題2 交通結節機能の向上

- ➡ 折尾駅及び駅前広場の再配置

課題3 住環境の改善

- ➡ 区画道路の整備
- ➡ 密集市街地の解消

これらの課題を総合的に解決し、折尾地区を「学園都市や学術研究都市の玄関口」にふさわしい地域拠点として再構築するため、

- 連続立体交差事業
- 街路事業
- 土地区画整理事業

を一体的に実施する「折尾地区総合整備事業」を進めています。

また、事業期間が長期にわたることから、工事期間中も快適に過ごすことができ、新しく完成した後も暮らしやすいまちの実現に向けて、**地域の方々と協働したまちづくり**を進めています。

効果1

「9箇所の踏切」が除去

- 街路事業及び連続立体交差事業により幹線道路が改善されます。
- 人とモノの流れが安全でスムーズなまちが実現します。

現状



整備イメージ



安全でスムーズな道路(バリアフリー化した快適な歩道)

効果2

駅や駅前広場の整備による交通結節機能の向上

- 鉄道とバスの乗り換えや、送り迎えなどがスムーズになります。
- バリアフリー化の推進により、すべての人が利用しやすい駅や駅前広場となります。



(事例)スペースワールド駅 コンコース

効果3

土地区画整理事業による「住環境の改善」

- 宅地や区画道路の整備により土地利用がしやすく防災性に優れた住環境が整備されます。

現状



道路が狭く防災上多くの課題

整備イメージ



消防車・救急車が迅速に通れる区画道路

効果4

民間投資の促進や地域の活性化に大きく寄与し、活力のあるまちが実現

- 駅周辺がまちの顔として一新し、新しく生み出される高架下の空間を活用することで、まちづくりの可能性が広がります。



駅周辺の民間開発プロジェクト例(折尾警察署跡地)



新しい駅前広場等で地域のイベントを実施予定

整備前



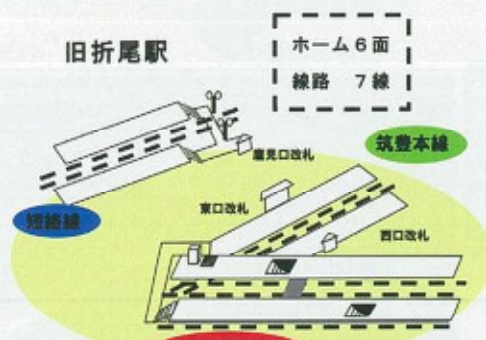
●●● 鹿児島本線
●●● 筑豊本線
●●● 短絡線

除却される踏切

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| ① 八幡町通り踏切 | ④ 鷹見踏切 | ⑦ 川端通り踏切 |
| ② 国道踏切 | ⑤ 本町通り踏切 | ⑧ 天神町踏切 |
| ③ 日吉町踏切 | ⑥ 四反田踏切 | ⑨ 大膳1踏切 |



3つの鉄道が市街地を分断
(折尾駅の南側から北向きに見た写真)



- 短絡線の改札が、本駅舎から離れています。
- 短絡線の駅構内に踏切があります。
- 筑豊本線と鹿児島本線が、駅構内で立体交差しています。
- 構内が複雑なうえに、階段での昇り降りとなっています。

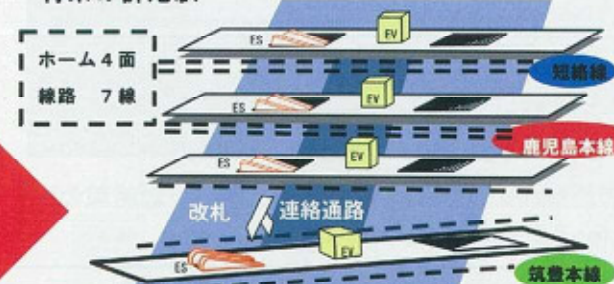
整備後



●●● 鹿児島本線
●●● 筑豊本線
●●● 短絡線

●●● 新設・拡幅街路
●●● 区画整理事業区域
●●● 西折尾住環境整備事業区域
●●● 高架部

将来の折尾駅



- 改札口が集約されます。
- 全てのホームが同じ高さで揃います。
- 駅構内の連絡通路を過って、乗り換えがスムーズに行えます。
- エレベーター、エスカレーターが設置され、バリアフリー化されます。
- 老朽化した駅施設が更新されます。

立体交差のイメージ

*折尾駅の南側から北向きに見たイメージです。



折尾駅周辺連続立体交差事業

- 連続立体交差事業では、鉄道による市街地の分断や踏切による交通渋滞の解消等を図るため、折尾駅周辺の鹿児島本線、筑豊本線、短絡線の3つの鉄道においてトンネル化や高架化等を進めています。
- 工事の手順は、鹿児島本線の列車を走らせながら2つの鉄道(筑豊本線、短絡線)を移設するため、複雑で時間のかかるものとなります。

事業概要(総事業費 約350億円)

- 事業主体 北九州市
- 事業延長 約4.5km
[鹿児島本線 約2.1km
筑豊本線 約2.4km]
- 施行期間 平成16年度～34年度

① 鹿児島本線1次仮線切替(西折尾町)



筑豊本線トンネル工事・短絡線高架工事のため、既存の鹿児島本線の北側の国道トンネルを撤去し1次仮線を敷設(平成24年12月)

② 短絡線高架橋工事(堀川町)



鹿児島本線の南側に、短絡線高架橋を整備(鹿児島本線2次仮線として使用)

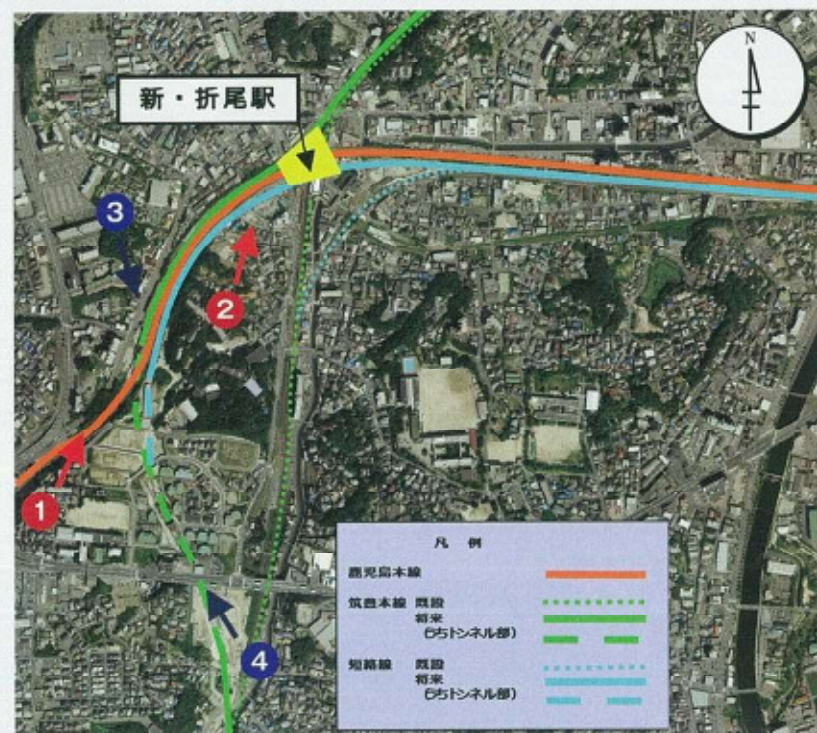
③ 筑豊本線トンネル工事(鹿児島本線交差部)



④ 筑豊本線トンネル工事(国道3号交差部)



国道3号直下施工時



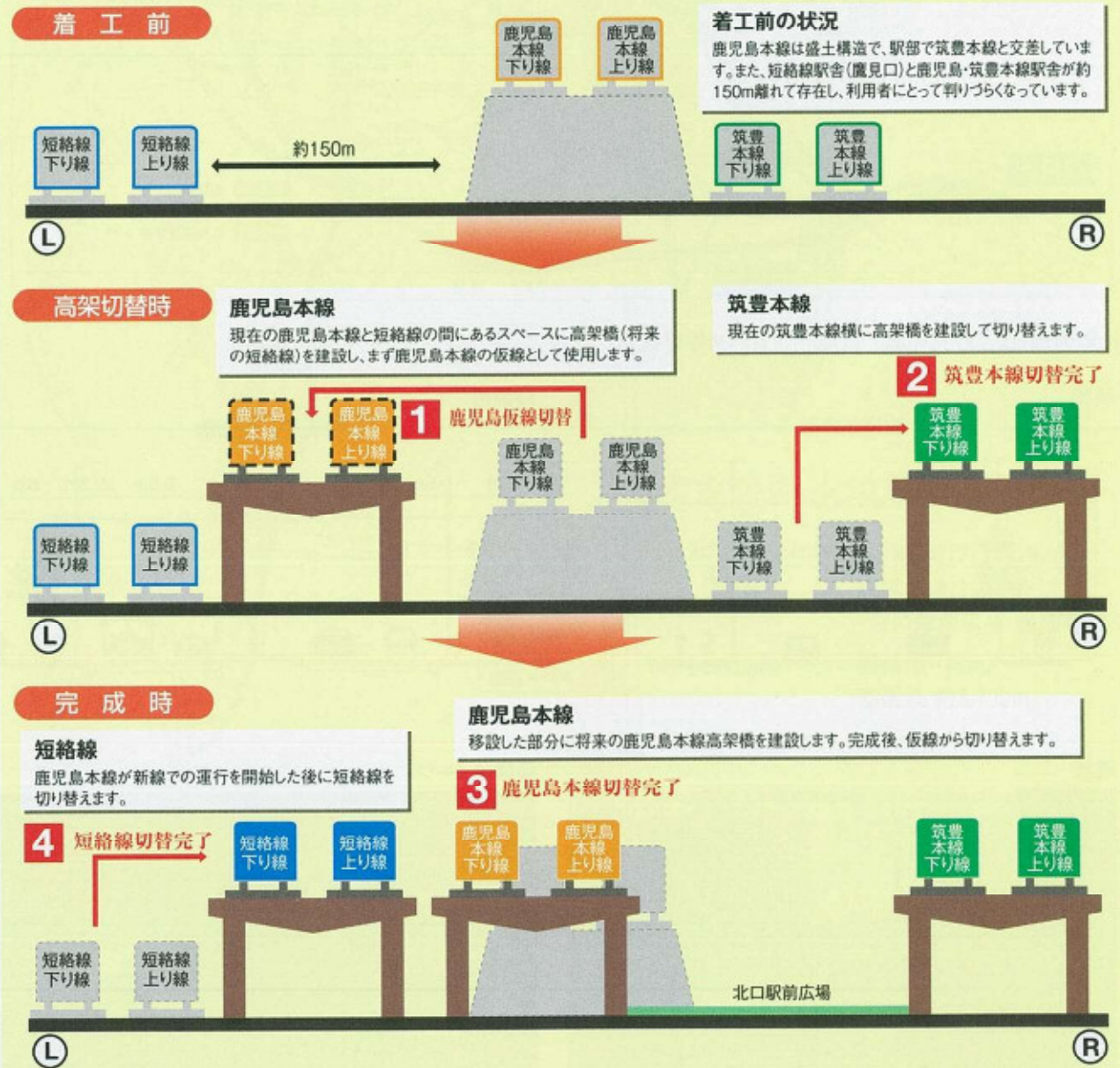
- 平成17年度から短絡線高架工事(青色実線)、筑豊本線・短絡線のトンネル工事(緑色破線・青色破線)を行っています。
- 平成27年度から筑豊本線高架工事(緑色実線)も行っています。
- 短絡線を鹿児島本線2次仮線として切替した後に、鹿児島本線の高架工事(オレンジ色実線)を行います。

鉄道の切替概要図



駅付近での鉄道の切り替え手順イメージ図(例)

*上図のL↑↑R部の断面イメージ



街路事業

- 街路事業では、交通渋滞の解消と折尾駅へのアクセスを改善するとともに、歩行者の安全や回遊性を向上させ、沿道商業の活性化を目指しています。
- 事業は、鉄道の高架化にあわせ、道路の拡幅・新設及び折尾駅北口駅前広場の整備を図っています。

■ 事業概要 (総事業費 約280億円)

- 事業主体 北九州市
- 事業延長 約7.2km
- 北口駅前広場 約9,800㎡
- 施行期間 平成16年度～

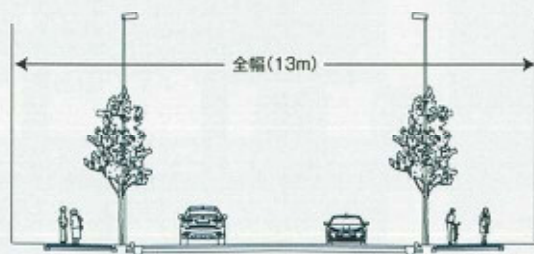
整備計画図



- 整備例(日吉台光明線) 折尾一丁目バス停付近

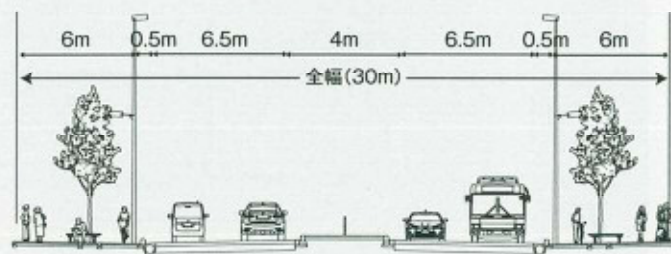
現狀

現況断面図



整備後

4車線道路 断面図



現状



整備イメージ



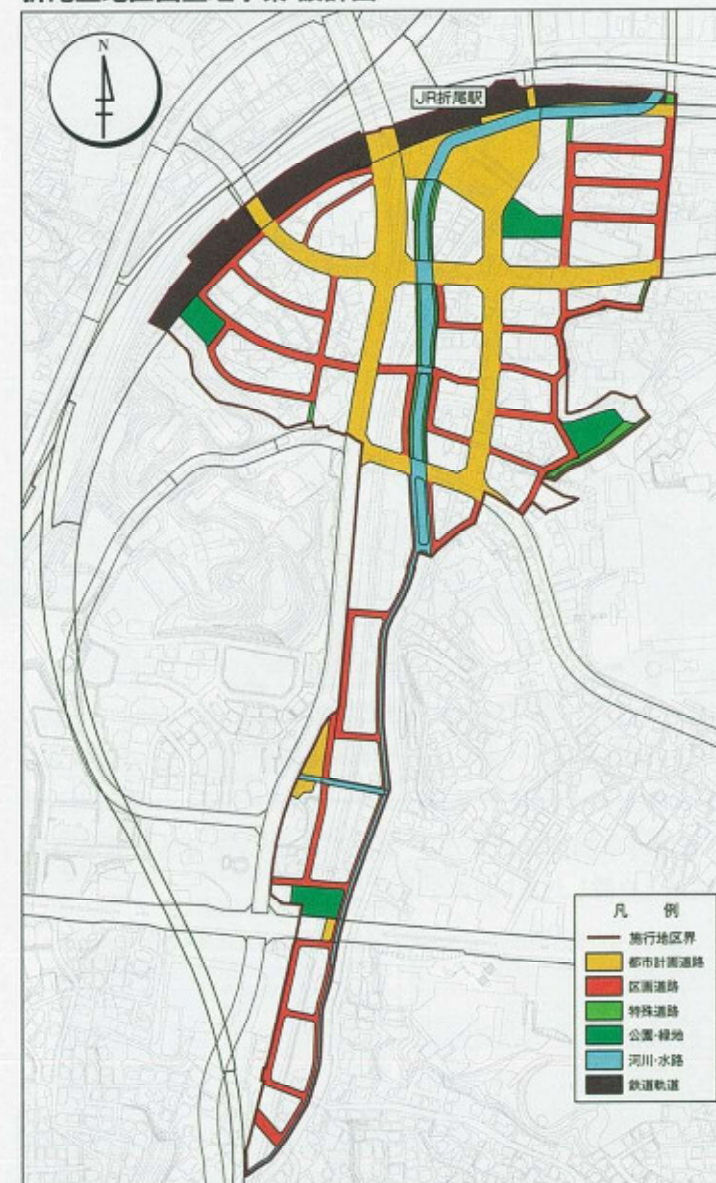
折尾土地区画整理事業

- 折尾駅南側の土地区画整理事業では、住環境の改善や防災性の向上を図り、将来にわたって安全・安心に暮らせるまちづくりを目指しています。
- 事業は、連続立体交差事業の進捗にあわせ、区域内を3つの工区に分けて事業推進を図っています。

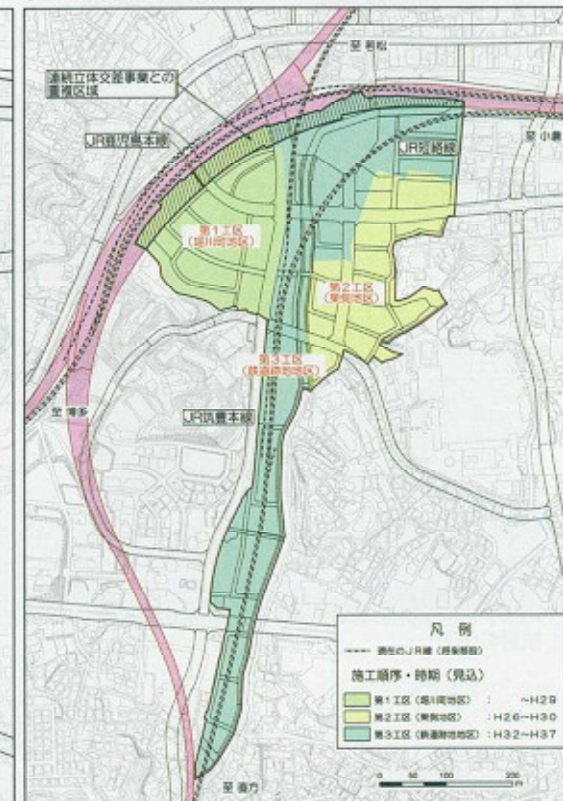
■ 事業概要(総事業費 約200億円)

- 事業主体 北九州市
- 施行面積 約16.9ha
- 施行期間 平成18年度～37年度
- 平均減歩率 約18.02%
(減価買取前 約22.99%)

折尾土地区画整理事業 設計図



施工順序区域図



■主な公共施設等

- 都市計画道路 7路線 幅員12～29m
総延長 約1,169m
(南口駅前広場 総面積約8,020㎡)
- 区画道路 幅員 4～11m
総延長 約3,709m
- 公園 4箇所

現状



整備イメージ



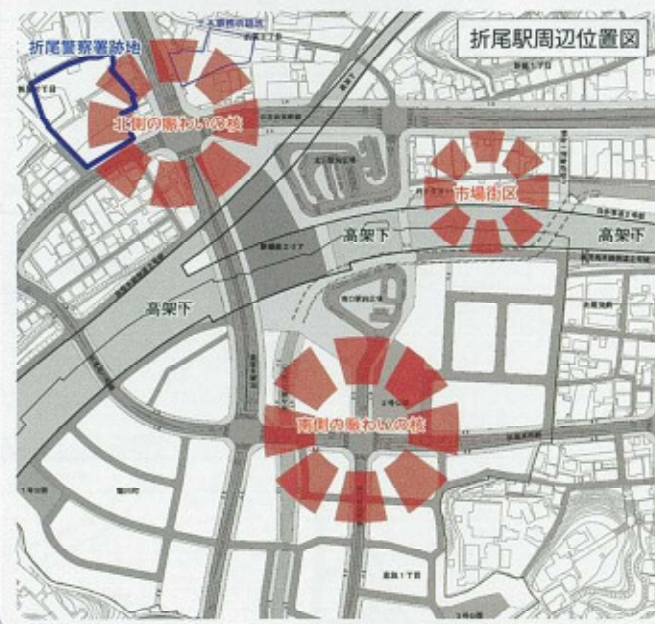
地域と協働したまちづくり

折尾地区総合整備事業による折尾地区の再生・活性化に向けたまちづくりを進めるため、自治会や折尾商連など地元団体が集まり、「おりお未来21協議会」が平成18年4月に設立されました。協議会では、約1年間で延べ50回以上の検討を重ね、平成20年6月に「折尾まちづくりビジョン」を市に提言しました。

折尾まちづくりビジョン

折尾地区が目指すもの
「人が主役、やさしいっぱいのまち」

- ①商業を中心とした賑わいの創造
- ②公共施設(駅前広場・街路・公園等)のデザインや景観形成
- ③歴史的建造物の保全と活用
- ④すべての人にやさしく、安全・安心なまちづくり



市長への提言



検討の様子

このビジョンを踏まえ、駅舎の保全・活用や駅周辺市有地の早期開発着手など、協議会をはじめとする地元の要望も聞きながら、より良い折尾のまちづくりの実現に向け、地域と協働した取り組みを進めています。



新折尾駅舎デザイン(案)を発表

- 大正5年当時の駅舎の外観を可能な限り再現
- 旧駅舎のシンボリック部材の活用



旧折尾駅舎のシンボリック部材の活用
(八幡西区役所折尾出張所内に展示中)



駅周辺の大規模市有地の民間開発
公募型プロポーザルによる事業者選定
【施設概要】地上19階建
分譲住宅、生活利便施設、子育て・高齢者支援施設、交流ゾーン等

工事期間中のにぎわいづくり

地域の方々と連携してにぎわいづくりに取り組んでいます。



ありがとう折尾駅舎
折尾駅舎解体の感謝イベント(来場者3万人)
(H24.10月)



気に入ったお店をはじめてバルメニュー
(1ドリンク+1フード)を楽しむ(毎年10月)



工事用フェンス活用
折尾の春夏秋冬の行事をPR
(H26.3月)



ランチ&弁当マップ
昼のにぎわいづくり
(H27.4月)



おいでよ!オリオ
おりお未来21協議会設立10周年イベント
(H27.10月)

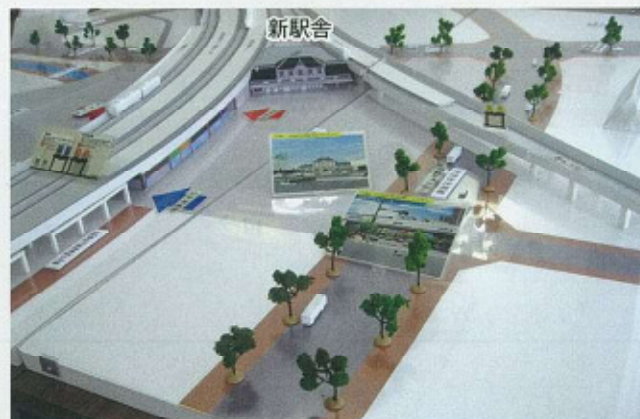


堀川いっせいで清掃
折尾地区約400名の学生等がボランティアで参加(毎年10月)

折尾地区総合整備事業PRルーム

折尾地区総合整備事業の進捗状況や将来イメージなどを地域の方々により分かりやすくお知らせするため、JR折尾駅東口前のオリオンプラザ第一ビル1階に、「折尾地区総合整備事業PRルーム」を開設しています。

- 利用時間 平日午前9時～午後5時 ※土・日曜日、祝日、年末年始は休み
- 所在地 八幡西区北鷹見町13-10(オリオンプラザ第一ビル1階)
- 展示内容 折尾地区総合整備事業概要
駅周辺完成予想模型
折尾土地区画整理事業完成予想模型
将来イメージ図
工事の進捗状況
JR折尾駅舎記録保存調査報告書 など



駅周辺完成予想模型



将来イメージ図

事業のあゆみ

平成元年度	「北九州市ルネッサンス構想」で折尾を地域中心核に位置づけ
平成 8年度	折尾まちづくり構想発表
平成12年度	地元組織「折尾駅周辺まちづくり推進協議会」発足
平成13年度	連続立体交差事業着工準備採択
平成14年度	折尾総合開発事務所を開設【平成20年度に現名称に変更】
平成15年度	折尾地区総合整備事業の都市計画原案に関する公聴会
平成16年度	連続立体交差・街路・土地区画整理事業の都市計画決定 街路事業 事業認可 (日吉台光明線(駅前広場を含む)、乙丸折尾線 【平成19年度に折尾青葉台線に名称変更】、折尾中間線、折尾南北線) 連続立体交差事業(全線) 事業認可
平成17年度	JR九州と基本協定を締結 街路事業(一部区間)、連続立体交差事業(トンネル区間)の 測量・調査及び用地買収開始
平成18年度	地元まちづくり団体「おりお未来21協議会」発足 連続立体交差事業 工事着手(トンネル区間より) 街路事業 事業認可(折尾東西線) 土地区画整理事業 事業計画の決定
平成20年度	おりお未来21協議会が「折尾まちづくりビジョン」提案
平成22年度	街路事業 事業認可(折尾堀川町線、JR筑豊本線側道2号線・3号線)
平成24年度	折尾駅仮駅舎・暫定北口駅前広場供用開始 土地区画整理事業 仮換地指定の開始(堀川町地区) 鹿児島本線一次仮線切替
平成25年度	旧折尾駅舎調査・解体完了 土地区画整理事業 造成工事着手(堀川町地区)
平成27年度	土地区画整理事業 仮換地指定の開始(東側地区・鉄道跡地地区)

都市計画決定に至る地元とのあゆみ

平成8年、市は地元とともに総合的なまちづくりを検討し、「折尾まちづくり構想」を策定しました。この構想のなかで、市街地を分断する鉄道を移設し、トンネル整備や高架化と合わせて駅周辺市街地を整備する計画が提言されました。

平成13年の北九州学術研究都市開設や福北ゆたか線電化など新しい動きが生じ、地元でも「折尾駅周辺まちづくり推進協議会」が発足しました。

その後、「折尾を良くする会」などの「折尾地区総合整備事業の早期着工」を求める署名活動や住民大会が開催され、市は都市計画案を決定しました。

発行／問い合わせ先

〒807-0834 北九州市八幡西区北鷹見町13-10
オリオンプラザ第一ビル2階

北九州市建築都市局
折尾総合整備事務所
TEL. 093-602-3108
(計画課・区画整理事業課)
TEL. 093-691-2522(工事課)
FAX. 093-602-3128

折尾地区総合整備事業スケジュール

年 度		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37			
街路事業	北口駅前広場	◎都市計画決定（3事業同時決定）	暫定駅前広場整備										★仮駅舎供用 暫定供用		段階整備・暫定供用						全面供用					
連続立体交差事業	トンネル工事 駅周辺高架工事 （鹿児島本線、筑豊本線、短絡線）		トンネル工事										駅周辺高架工事											★連立事業完了 供用		
													○鹿児島本線一次仮線切替			○鹿児島本線二次仮線切替			○筑豊本線切替（単線）	○筑豊本線切替（複線）	○鹿児島本線切替	○短絡線切替				
	新駅舎																						★新駅舎完成			
土地区画整理事業			先行買収																							
													意向調査 換地設計	第1工区【堀川町地区】												
													★仮換地指定													
													意向調査 換地設計	第2工区【東側地区】												
													★仮換地指定													
													意向調査 換地設計	第3工区【鉄道跡地地区】												
													★仮換地指定													
													意向調査 換地設計													